


「南種子町立平山小学校のヤートセイ伝承活動の取組」

1. 学校名	南種子町立平山小学校
2. 学年・人数	小学1年生から6年生（計24人）
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和6年6月28日～令和6年9月19日 平山小学校校庭及び体育館</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和6年9月22日（日） 平山小学校・平山地区合同秋季大運動会 平山小学校校庭 令和6年11月9日（土） 学校創立150周年記念式典 平山小学校体育館</p>
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	<p>(1) 名称 「ヤートセイ」（やあとせえ）（西之町集落の踊り）</p> <p>(2) 由来 江戸時代から伝わる伝統芸能で、種子島で祭や祝事の際に今もよく踊られている。ヤートセイは、長篇の叙事的歌謡で、同じ曲の二通りを繰り返し、囃子が「よいよい」と「ヤートセイ」の二とおりあり、この囃子からヤートセイと名付けられた。踊りの種類はいくつか存在し、西之町は「伝七口説」である。また、ヤートセイは中踊りの一つであり、南種子町及び中種子町の一部では秋祭に奉納踊として踊られている。</p> <p>(3) 構成等 平山の伝七口説は、女子青年が主体となって踊り、男子は楽器の役だけ数人加わる（大太鼓一人、小太鼓一人、鉦一人）。隊列は、輪になって、手に扇子を持って踊る。平山では、輪の中に家の模型を曳いて踊るのが特徴である。今回は西之町集落の方々にも協力をいただき、児童と教職員と一緒に踊った（約40人）。西之町集落の方が歌い手を担った。</p>
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>60年以上前から、各集落の踊り等の伝承活動が小学校においても行われていたが、毎年、小学生が踊りを踊る仕組みは確立されていなかった。そこで、平成13年に地域に伝わる伝統芸能を継承・保存するために、平山地区の4つの集落が3年ごとに指導を行っていく仕組みが確立された。初年度からの3年間は浜田集落の「なぎなた踊り」、次が中之町集落の「ひょうたん踊り」、次が広田集落の「ちくてん」、そして西之町集落の「ヤートセイ」を指導していただいている。本年度は、西之町集落の「ヤートセイ」の1年目である。</p>
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>練習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>運動会で披露</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>平山小学校創立150周年記念式典で披露</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手の動きに悩んでいるときに地域の方が細かく教えてくださったので、本番でもきれいに踊ることができた。</li> <li>・ これからも踊りをがんばって、ヤートセイを受け継いでいきたい。</li> </ul> <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習や本番に地域の方が毎回積極的に参加して下さり、平山に伝わる伝統芸能を学ぶよい機会となった。また、地域の方が伝統を継承している意義も知ることができた。</li> </ul>